

# WACOM 株式会社ワコム

〒349-1148 埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台二丁目510番地1<本社>  
TEL: 0480-78-1211 (代表) FAX: 0480-78-1220

郵便はがき

1 6 4 - 8 7 2 0

料金受取人払

中野坂上局承認

247

差出有効期間  
平成16年7月  
31日まで

●切手不要

東京都中野区本町1-32-2  
ハーモニータワー18階  
株式会社 ワコム  
経営企画部 行



氏 名

住 所 〒 (都・道・府・県)

性 別 男・女 年 齢 ( ) 歳

株式投資歴 a. 3年未満 b. 3年以上10年未満  
c. 10年以上20年未満 d. 20年以上

職 業

株主メモ

決 算 期 3月31日

定 時 株 主 総 会 毎決算期の翌日から3ヵ月以内

基 準 日 3月31日 (その他必要あるときはあらかじめ公告いたします)

利 益 配 当 金 3月31日 (中間配当を実施する場合は9月30日)  
受 領 者 確 定 日

公 告 の 方 法 日本経済新聞に掲載いたします

証 券 コ ー ド 6727 (JASDAQ)

名義書換代理人 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 住所変更等用紙のご請求 ☎0120-175-417  
その他のご照会 ☎0120-176-417

(ホームページ) <http://www.sumitomotrust.co.jp/>

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社本店  
および全国各支店

<http://www.wacom.co.jp/>

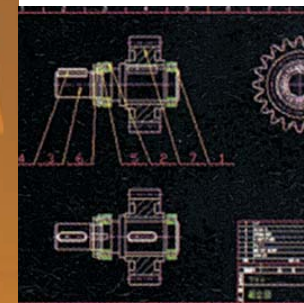


The harmonious development between  
man & technology

WACOM

JASDAQ 証券コード: 6727

第 2 1 期 中 間 事 業 報 告 書  
2003.4.1~2003.9.30



INTERIM REPORT  
2003



株主の皆様へ

# To Our Shareholders

おかげさまで  
平成15年4月24日に  
JASDAQ市場に  
新規上場いたしました



代表取締役社長 小川 義水

# WACOM

このたび当社は平成15年4月24日JASDAQ市場に上場いたしました。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と深く感謝いたしております。

当社は、人間が本来持っている創造力を、より豊かにするために必要な製品を提供したいと願っております。お客様に満足や感動していただくため、我々は更なる技術革新に挑戦し続けます。

## 当中間期の事業動向と業績について

当中間連結会計期間は、一部に明るさの兆しが見られたものの、経済環境や様々な社会状況の変化、新型肺炎SARSやイラク戦争等による影響もあり、一般的に厳しい経済環境にありました。しかしながら、当社にとっては技術・製品の用途が色々な分野に広がりを持ち始めることが確実になってきた期でもあり、今後の事業展開に確かな展望及び確信を持つことができました。

事業部門別では、電子機器事業が成長路線にあり、製品用途の拡大や新製品の投入により中期的な展望が明確になってまいりました。ECS事業はCAD市場の停滞環境の中、いかに利益を確保していくかが課題でしたが、当中間連結会計期間はほぼその利益目標を達成しました。EHI事業は電子政府の導入に先進的な取り組みを見せている地方自治体等に、徐々に電子印鑑の効用の認識・理解が広がっておりますが、売上に大きく貢献するには今しばらく普及活動を要します。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は売上高が7,522百万円（前年同期比12.1%増）となり、営業利益は491百万円（同7.6%増）、経常利益は466百万円（同11.8%増）、中間純利益は188百万円（同17.9%増）となりました。

## 通期の見通しと、中長期の事業戦略について

下半期もおおむね上半期の傾向が続くと考えられますが、売上においては円高によるマイナスの影響を見込んでおります。ただ、利益においては海外生産・輸入製品の原価削減にプラスに作用することもありますので、通期見通しに関しては変更しておりません。その結果、業績の見通しにつきましては、連結予想売上高16,600百万円(前年同期比10.4%増)、連結予想経常利益1,228百万円(同19.2%増)、連結予想当期純利益578百万円(同15.0%増)を見込んでおります。

当社は今後も「人間とテクノロジーの調和ある発展」を社是に、21世紀のヒューマンインターフェイスの発展の中、日本の技術がグローバルに活躍する企業として当社独自の技術力をいかし、デジタルペーパー時代のデファクトスタンダード（業界標準）を目指します。そして、他社の追従を許さない技術力とその特許戦略、グローバルな事業展開を強みに、市場での圧倒的なトップリーダーの地位を確立してまいります。

## 株主へのメッセージ、配当政策

10年後、20年後も業界のトップリーダーとして活躍、貢献していくために開発力・技術力への投資も重視いたします。そして、中長期的に企業価値の向上に努めながら、当社の製品・技術が今後もますます社会生活の中で活用され、役立つ存在になっていくように役員をはじめ従業員一同邁進してまいります。そういった中で、配当政策もいまままで通り健全な財務体力を維持しながら安定的に継続してまいり所存です。

今後とも株主の皆様の一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# Corporate Philosophy

## 「人間とテクノロジーの調和ある発展」

- わたしたちは、企業活動を通して、社会に貢献する。
- わたしたちは、お客様に感動と喜びを提供する。
- わたしたちは、常に創意工夫し、新しいことに挑戦する。

# History

## 1983. 7

- 資本金48百万円にて株式会社ワコムを設立（埼玉県上尾市）
- 電子機器事業及びECS（エンジニアリング コラボレイティブ ソリューションズ）事業を開始

## 1988. 6

- 欧州の販売拠点として、西ドイツノイス市にワコムコンピュータシステムズゲーエムペーハー（現ワコムヨーロッパゲーエムペーハー）を設立（現連結子会社）

## 1991. 8

- 米国の販売拠点として、米国ワシントン州バンクーバー市にワコムテクノロジーコーポレーションを設立（現連結子会社）

## 1994. 4

- 長野地区の販売拠点として、長野県上田市に株式会社長野ワコム（現株式会社ワコムネット）を設立（現連結子会社）

## 1998. 3

- 製品情報管理（PDM）システム「SmartPDM」発売

## 1998. 9

- プロフェッショナルグラフィックス・タブレット「Intuos」発売

## 1999. 6

- 電気設計用CAD「ECAD/dio」発売

## 1999. 11

- コンシューマグラフィックス・タブレット「FAVO/Graphire」発売

## 2000. 3

- 中国の販売拠点として、中華人民共和国北京市にワコムチャイナコーポレーションを設立（現連結子会社）

## 2001. 9

- 液晶一体型タブレット「Cintiq」発売

## 2001. 10

- プロフェッショナルグラフィックス・タブレット「Intuos2」発売
- コンシューマグラフィックス・タブレット「FAVO F-410, F-510/Graphire2」発売
- ペン・センサーコンポーネントビジネスのマーケティング・研究開発拠点として、英国ケンブリッジ市にワコムコンポーネントヨーロッパを設立（現連結子会社）

## 2002. 4

- EHI（エレクトロニック ヒューマン インターフェイス）カンパニーを設立

## 2003. 4

- JASDAQ市場に株式上場



# Growth Strategy

## タブレットのデファクトスタンダード

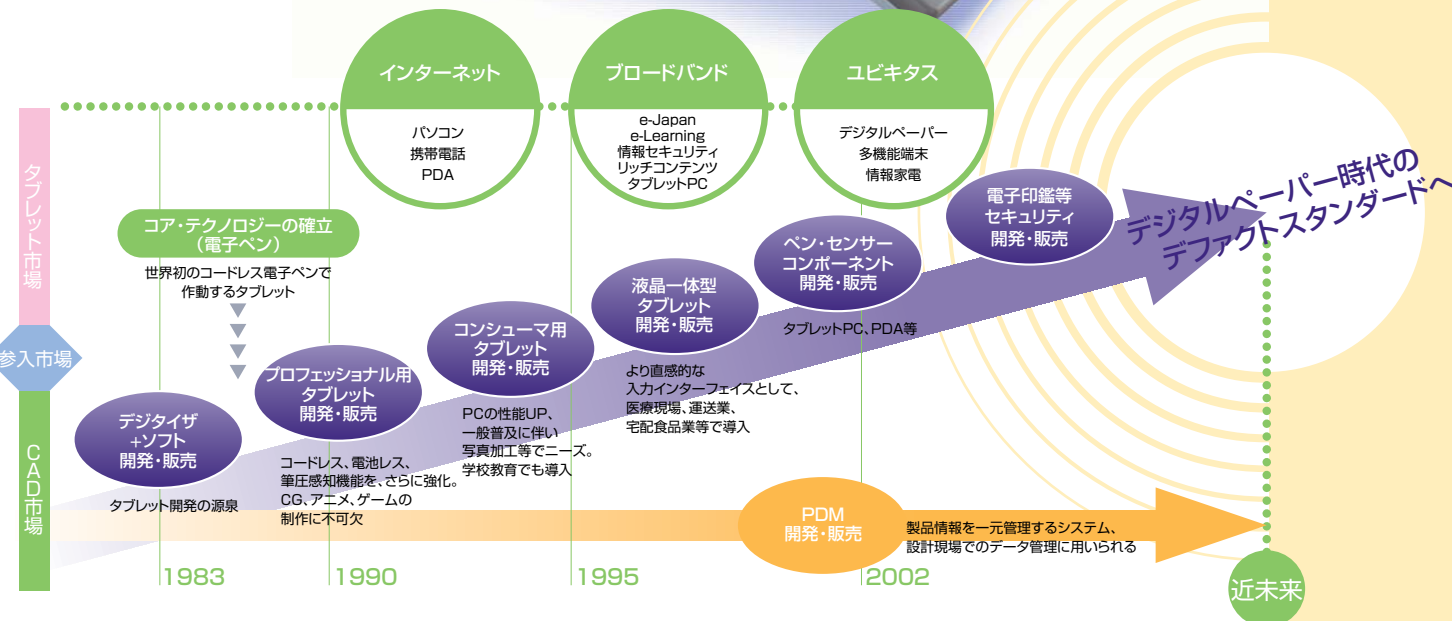
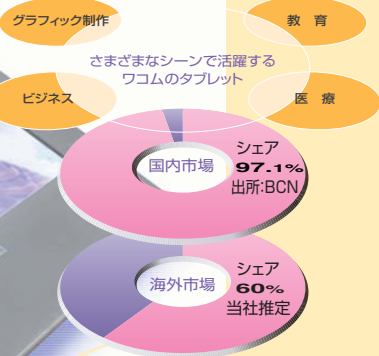
当社は創業以来、「人にもっとやさしいインターフェイス」を追求しコンピュータを簡単な道具として使えるような研究・開発を行ってきました。当初、製造業向けCADソフトの座標入力用装置として開発したデジタイザの技術が、その後の改良と応用により80年代後半にはコンピュータグラフィックス用の需要に応え、パソコン上で絵を描くツールとしてペンタブレットの開発に成功しました。その操作性、表現力を高く評価され、グラフィックスデザインをはじめ、映画やゲーム、アニメーション制作現場では不可欠な存在となりました。近年では各家庭へのパソコン及びデジタルカメラの普及やブロードバンドの急速な普及がパソコン上で絵を描くことへの大きな追い風となりコンシューマ用タブレット市場は大きく拡大してまいりました。

また、タブレットとモニターを一体化し、入力と表示がまさに紙にペンで描くようにできる液晶一体型タブレット

は電子カルテ等の医療関係のビジネスへの利用や教育ツールとしての文教関係、自動車デザイン等への用途拡大で今後の成長が見込まれています。

最近ではタブレットの基礎技術であるセンサーを他社に提供し新たな市場発掘にも力を注いでおり、タブレットPCをはじめ、今後は携帯電話、PDA、情報家電分野へと拡大し、ユビキタス時代の重要なキーデバイスとなっております。また、伝統的な印鑑文化とIT技術の結合である「電子印鑑」の生産や、創業当時の事業であるCADの開発・販売でも、ビジネス界への貢献を続けています。

こうした高い技術力によるグローバル市場で圧倒的なトップリーダーとしての地位を確立しデジタルペーパー時代のデファクトスタンダードを目指してまいります。



# Segment Information

## 電子機器事業

当事業は、ペンタブレット及びそれに関連するソフトウェアの開発・製造・販売を主な業務としています。ペンタブレットとは、電子ペンとタブレット本体を基本構成とする入力機器です。主な用途はイラストレーションや写真加工、印刷、映像作品など多様に展開しています。現在、当事業部は全世界で400件を超す「取得済み及び出願中特許件数」を保有しており、世界のタブレット市場の約60%（当社推定）、国内では97.1%（BUSINESS COMPUTER NEWS 2003/2/10 Vol.977）のシェアを確保するタブレット分野のリーディングカンパニーです。更に、日本、米国、欧州、中国に子会社を持ち全世界での新しい市場の発掘及び販売体制を構成しております。従来、ペンタブレットのユーザーは主に制作現場のプロでした。

今般では営業活動の強化によって一般のユーザーや医療・教育分野等にも当事業部製品が浸透していき、今後の更なる展開に向けて一層、研究・開発・販売に努めてまいります。

### 電子機器事業／製品ラインアップ

#### WACOM intuos2

ワコムの最先端のタブレット・システム。プロフェッショナル仕様として世界中のクリエイターから高い評価を得ています。1024レベルのペン筆圧機能、多彩な表現を可能にする±64レベル傾き検出機能、デバイスIDなど、比類ない操作性と高性能を備えたグラフィックス・タブレットです。



#### WACOM FAVO

世界のクリエイターに愛用されている上位機種に迫る高性能を備えつつ、一般のPCユーザーにとっても使いやすいさを追求。512レベルの筆圧機能に、指先で簡単に操作できる2サイドスイッチで使いやすいペンと、コードレスマウスで快適な操作を実現します。



#### WACOM Cintiq

画面を直接ペンで操作する液晶一体型タブレット。グラフィック制作だけでなく、ビジネスの現場でも幅広く利用されています。現在15型、17型及び18.1型のカラー



TFT液晶ディスプレイを搭載した3モデルをラインアップ。コードレス&電池レスペンが快適な書き込みと操作を実現します。更に、高精度、高分解機能、高速読取可能な高性能が魅力です。

#### WACOM Smart Scroll

スクロール、ズーム、ショートカットが簡単に操作できるワコムのスマートスクロール。右手にペンやマウスを持ち、左手にスマートスクロールを持って作業すれば、効率が大幅にアップします。



#### ペン・センサーコンポーネント事業

ワコムでは完成品ばかりではなく、ペン入力タブレット技術を様々なシステム機器分野に供給するコンポーネント事業を行っています。当社が提供するセンサーユニットと組み込みの技術を「Wacom Penabled Technology」(ワコム・ペナブル・テクノロジー)と呼び、全世界的なブランドとして使用しています。応用範囲はPCに限らず携帯情報端末機器からシステム機器、アミューズメント、玩具の分野など全世界で幅広く活用されています。



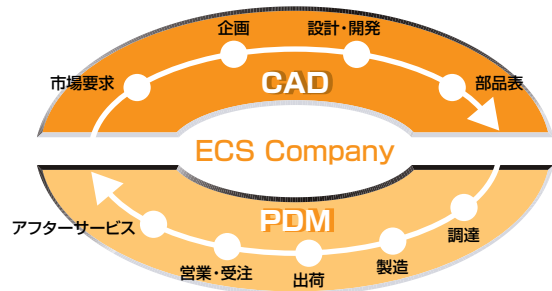
## ECS事業

当事業は、製造業向けに設計支援システムをベースとしたソフトウェアパッケージの開発・販売と、それに付帯するシステム構築を主な業務としています。

電気機器・制御機器に特化した電気設計用CADシステム及び機械設計用CADシステムを開発するとともに、製品情報の一元管理を可能にするPDM (Product Data Management) システムも販売しています。

今後は、製造業の海外移転等が進む中においても事業規模を維持し、既存顧客へのサポートに力を注ぎます。そして、顧客満足度の重視や、生産性・効率の高い事業運営を心がけるとともに、成長が期待できるPDM製品の拡販に努めてまいります。

### 物づくり全般をサポート



### ECS事業/製品ラインアップ



#### ECAD/dio

業界No.1シェアを誇る新世代電気設計用CADシステムです。電気設計の作図だけでなく、設計データとその周辺機器を相互に結びつけ、業務全般の効率化をサポートします。



#### SMARTEAM

革新的な製品情報コラボレーションツールです。企業組織に求められるデータ管理のニーズに、リーズナブルなソリューションを提供。競争力強化や信頼性向上に貢献します。



#### ProφDenki

世界標準のAutoCADをプラットフォームにした電気設計用CADシステム。電気CADのパイオニアとしてのノウハウをAutoCAD/AutoCAD LT上で構築します。



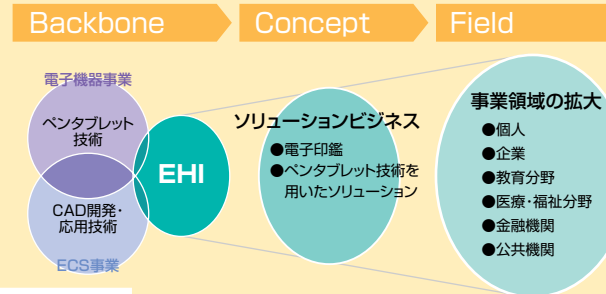
#### ProφProfessional

世界標準のAutoCADをプラットフォームにした機械設計用CADシステム。プロフェッショナル向けの2次元機械設計の環境をAutoCAD/AutoCAD LT上で構築します。

## EHI事業

当事業は、当社コア技術を前提とした、法人向けの機器及びソリューションの開発・販売を主な業務としています。今後、大きなうねりになると考えられるデジタルペーパー社会を視野に入れ、そこに必要とされる電子印鑑やペンに代表される機器を続々と開発します。それをもとにコンピュータメーカーのみならず、印刷会社や文具会社など当事業がこれまでビジネスパートナーとしてお付き合いしてこなかった分野の企業との積極的な提携を推進してまいります。

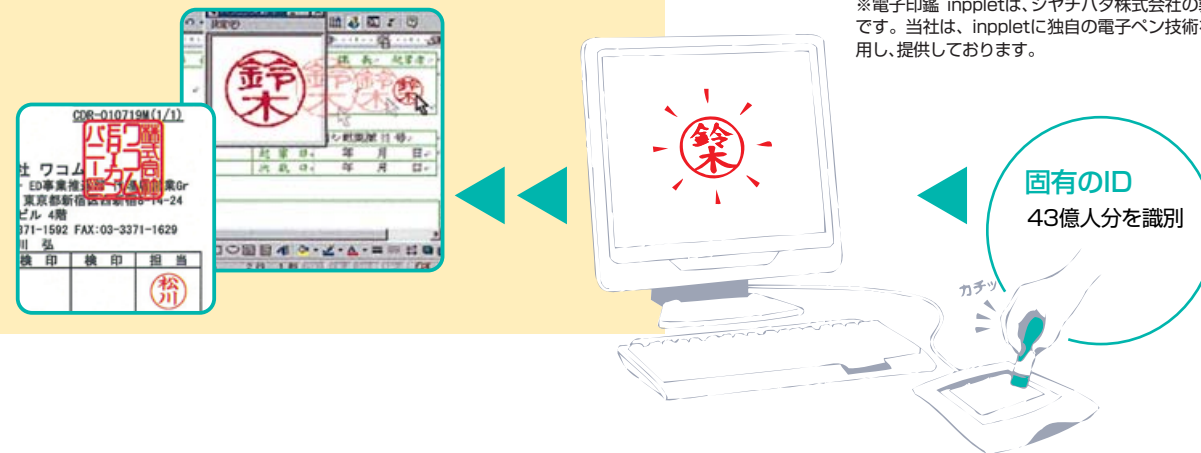
特に、電子印鑑に関しましては、すでに「日本の伝統的な印鑑の文化とIT技術の結合である」と高い評価をいただいております。電子政府の導入に先進的な取り組みを見せている地方自治体をはじめ、複数の民間企業で導入が始まっております。今後、教育分野、医療・福祉分野、金融機関等に積極的にアプローチし市場拡大に努めてまいります。



### 電子印鑑 inppet (技術協力)

タブレット上で電子印鑑を使用し、電子文書に捺印するシステムです。電子印鑑内のIDを使用し、まさに「紙に捺印する」感覚でパソコン上での決済を実現します。

※電子印鑑 inppetは、シヤチハタ株式会社の製品です。当社は、inppetに独自の電子ペン技術に応用し、提供しております。





# Business Review

## 当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、株価の上昇など一部に明るさが見られたものの、中東情勢の不安定、新型肺炎SARS感染拡大によるアジア圏市場の混乱、引いては米国経済の減速の影響などもあり依然として低調に推移しました。

このような経済状況のもと、当社グループは、引き続き原価の低減や生産効率の向上に努めるとともに、オリジナル製品群の新規利用分野への販売体制等の強化を図りました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は売上高が7,521,803千円（前年同期比12.1%増）となり、営業利益は491,147千円（同7.6%増）、経常利益は466,370千円（同11.8%増）、中間純利益は187,534千円（同17.9%増）となりました。

### 電子機器事業

当事業の主要市場であるタブレット市場は、イラク戦争や新型肺炎SARSの影響による個人消費の停滞など市場環境の急激な変化を回避することができませんでした。第2四半期に入り、市場は徐々に回復に向かったものの第1四半期の減速を埋めるには至りませんでした。

その中でも、北米、ヨーロッパ地域では映像編集やWebデザイン分野における需要拡大によりプロフェッショナル向け製品の販売が堅調に推移し、業績を支えています。

コンシューマ向け分野においても、コンシューマ向け新製品「WACOM FAVO（ファボ）」の発表・発売にあたり新規ユーザーの開拓をおこない、業績の回復に貢献しました。液晶一体型タブレット「Cintiq（シンティック）」においても、工業デザイン分野や医療分

野等を中心に需要が拡大し、特に、電子カルテ分野では業界標準化に向けて着実に前進しております。またマイクロソフト社の提唱するタブレットPC向け製品を主力とするペン・センサーコンポーネント分野においても、米国市場向けを中心に堅調な推移を見せております。

この結果、売上高は7,005,092千円（前年同期比18.3%増）、営業利益は1,016,725千円（同11.4%増）となりました。

### ECS事業

当事業の主要市場であるCAD市場は、今年度に入ってから半導体や工作機械を中心に業績回復の兆しが見え、設計から製造までの効率化を目指してシステムの見直しを行う動きもあり、当社のCADビジネスも正念場をむかえています。こうした中、当社では既存ユーザーの声を反映した製品開発を強化し、「ECAD/dio（ディオ）」Ver4.0をリリースしました。同時に入れ替え需要を確実に受注すべく、こまめな営業活動に取り組みました。

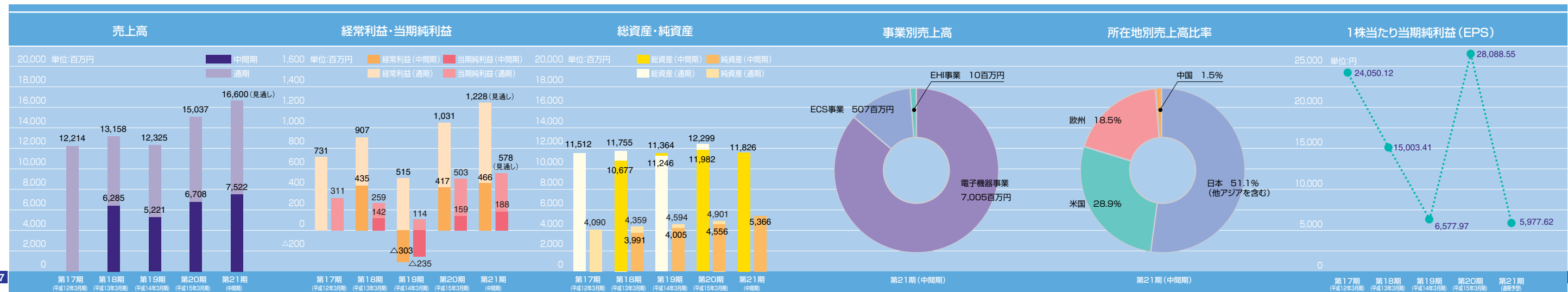
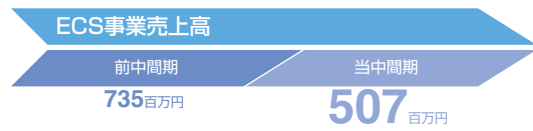
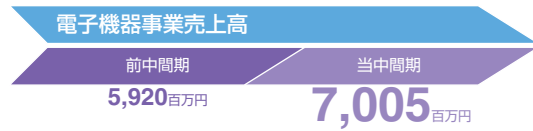
一方、市場が成長している製品情報管理（PDM）分野においては、市場の中で技術的優位が認められている「SMARTTEAM（スマーティーム）」の新規販売代理店を増やし、販売ルートを確立、技術支援を強化することに注力しました。

なお、今期からワコムアイティは連結対象会社ではなくなりました。この結果、売上高は506,680千円（前年同期比31.1%減）、営業利益は78,170千円（同275.7%増）となりました。

### EHI事業

当事業においては、電子印鑑にフォーカスした事業を展開しました。特に、電子政府の導入に先進的な取り組みを見せている地方自治体に積極的にアプローチし、今後の確かな手ごたえをつかんでおります。さらに民間企業においても、徳間書店など実稼働する事例も増えてまいりました。

この結果、売上高は10,031千円（前年同期比80.9%減）、営業損失は64,777千円（前年同期は64,944千円の営業損失）となりました。



※当社は、平成15年11月20日付で普通株式1株を5株に分割した為、第21期のEPSは上記の通りと見込んでおります。

# Consolidated Financial Statements

## 中間連結貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	前中間期 平成14年9月30日現在	当中間期 平成15年9月30日現在	前期 平成15年3月31日現在
<b>■ 資産の部 ■</b>			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	3,465,527	2,941,952	3,242,609
受取手形及び売掛金	2,167,356	2,561,581	2,389,850
たな卸資産	1,380,499	1,340,736	1,513,741
繰延税金資産	208,404	257,104	305,799
未収入金	118,733	195,087	197,874
前渡金	28,673	33,920	47,162
その他	48,731	87,087	84,140
貸倒引当金	△ 28,247	△ 34,778	△ 42,486
<b>流動資産合計</b>	<b>7,389,676</b>	<b>7,382,689</b>	<b>7,738,689</b>
<b>固定資産</b>			
<b>有形固定資産</b>			
建物及び構築物	2,068,909	1,883,869	2,018,344
機械装置及び運搬具	51,114	59,751	66,182
工具器具備品	278,727	280,369	285,454
土地	1,580,103	1,521,956	1,577,500
<b>有形固定資産合計</b>	<b>3,978,853</b>	<b>3,745,945</b>	<b>3,947,480</b>
<b>無形固定資産</b>			
ソフトウェア	77,402	65,225	72,171
ソフトウェア仮勘定	—	249,048	99,864
その他	11,726	10,478	11,531
<b>無形固定資産合計</b>	<b>89,128</b>	<b>324,751</b>	<b>183,566</b>
<b>投資その他の資産</b>			
投資有価証券	153,561	89,257	82,570
敷金・差入保証金	96,199	88,991	74,514
長期未収入金	7,875	10,540	—
長期前払費用	45,322	45	45,371
会員権	16,992	11,720	11,720
保険積立金	87,539	56,892	106,909
繰延税金資産	114,880	112,275	106,233
その他	15,186	5,937	10,257
貸倒引当金	△ 12,746	△ 3,526	△ 7,827
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>524,808</b>	<b>372,131</b>	<b>429,747</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>4,592,789</b>	<b>4,442,827</b>	<b>4,560,793</b>
<b>資産合計</b>	<b>11,982,465</b>	<b>11,825,516</b>	<b>12,299,482</b>

## 中間連結損益計算書(要旨)

単位：千円

科目	前中間期 平成14年9月30日現在	当中間期 平成15年9月30日現在	前期 平成15年3月31日現在
<b>■ 負債の部 ■</b>			
<b>流動負債</b>			
支払手形及び買掛金	1,794,175	2,072,585	2,426,522
短期借入金	1,142,800	810,000	594,386
一年内償還予定社債	—	200,000	200,000
一年内返済予定長期借入金	943,454	458,508	589,456
未払法人税等	222,255	29,140	339,034
未払金	517,239	571,249	508,191
前受金	100,898	93,288	91,779
賞与引当金	336,655	236,006	286,782
その他	17,616	111,527	133,305
<b>流動負債合計</b>	<b>5,075,092</b>	<b>4,582,303</b>	<b>5,169,455</b>
<b>固定負債</b>			
社債	700,000	500,000	500,000
長期借入金	1,226,912	738,846	1,107,780
退職給付引当金	173,641	211,392	199,321
役員退職慰労引当金	163,974	114,008	238,794
その他	41,852	313,104	134,223
<b>固定負債合計</b>	<b>2,306,379</b>	<b>1,877,350</b>	<b>2,180,118</b>
<b>負債合計</b>	<b>7,381,471</b>	<b>6,459,653</b>	<b>7,349,573</b>
<b>(少数株主持分)</b>			
<b>少数株主持分</b>	<b>45,481</b>	<b>—</b>	<b>48,725</b>
<b>■ 資本の部 ■</b>			
資本金	1,302,650	1,527,950	1,302,650
資本剰余金	1,069,550	1,368,560	1,069,550
利益剰余金	2,062,271	2,485,607	2,406,006
その他有価証券評価差額金	45,352	9,657	9,817
為替換算調整勘定	75,690	△ 25,911	113,161
<b>資本合計</b>	<b>4,555,513</b>	<b>5,365,863</b>	<b>4,901,184</b>
負債、少数株主持分及び資本合計	<b>11,982,465</b>	<b>11,825,516</b>	<b>12,299,482</b>

## 中間連結損益計算書(要旨)

単位：千円

科目	前中間期 平成14年4月1日 ～平成14年9月30日	当中間期 平成15年4月1日 ～平成15年9月30日	前期 平成14年4月1日 ～平成15年3月31日
売上高	6,708,297	7,521,803	15,036,968
売上原価	3,272,002	3,669,642	7,595,290
売上総利益	3,436,295	3,852,161	7,441,678
販売費及び一般管理費	2,979,684	3,361,014	6,406,894
<b>営業利益</b>	<b>456,611</b>	<b>491,147</b>	<b>1,034,784</b>
営業外収益	26,037	15,803	82,953
営業外費用	65,363	40,580	87,104
<b>経常利益</b>	<b>417,285</b>	<b>466,370</b>	<b>1,030,633</b>
特別利益	7,896	10,891	14,589
特別損失	83,120	77,531	108,819
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>	<b>342,061</b>	<b>399,730</b>	<b>936,403</b>
法人税、住民税及び事業税	282,908	173,308	589,426
法人税等調整額	△ 98,074	37,169	△ 157,228
少数株主利益(控除)	△ 1,801	1,719	1,442
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>159,028</b>	<b>187,534</b>	<b>502,763</b>

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位：千円

科目	前中間期 平成14年4月1日 ～平成14年9月30日	当中間期 平成15年4月1日 ～平成15年9月30日	前期 平成14年4月1日 ～平成15年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	839,546	△ 496,623	1,773,758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 116,180	37,160	△ 184,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,148	321,667	△ 1,038,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 80,388	△ 167,190	△ 63,133
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	661,126	△ 304,986	487,346
現金及び現金同等物の期首残高	2,583,354	3,070,700	2,583,354
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,244,480	2,765,714	3,070,700

## 中間連結剰余金計算書(要旨)

単位：千円

科目	前中間期 平成14年4月1日 ～平成14年9月30日	当中間期 平成15年4月1日 ～平成15年9月30日	前期 平成14年4月1日 ～平成15年3月31日
<b>■ 資本剰余金の部 ■</b>			
資本剰余金期首残高	1,069,550	1,069,550	1,069,550
資本剰余金増加高	—	299,010	—
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,069,550	1,368,560	1,069,550
<b>■ 利益剰余金の部 ■</b>			
利益剰余金期首残高	1,989,713	2,406,006	1,989,713
利益剰余金増加高	159,028	187,534	502,763
利益剰余金減少高	86,470	107,933	86,470
利益剰余金中間期末(期末)残高	2,062,271	2,485,607	2,406,006

# Non-consolidated Financial Statements

中間単体貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	前中間期 平成14年9月30日現在	当中間期 平成15年9月30日現在	前期 平成15年3月31日現在
<b>■ 資産の部 ■</b>			
流動資産	5,043,308	4,799,909	4,974,911
固定資産			
有形固定資産	3,317,597	3,320,447	3,292,730
無形固定資産	80,573	312,887	168,350
投資その他の資産	1,867,392	1,683,870	1,743,717
固定資産合計	5,265,562	5,317,204	5,204,797
<b>資産合計</b>	<b>10,308,870</b>	<b>10,117,113</b>	<b>10,179,708</b>
<b>■ 負債の部 ■</b>			
流動負債	4,626,929	4,163,672	4,531,802
固定負債	2,104,865	1,865,569	1,986,046
<b>負債合計</b>	<b>6,731,794</b>	<b>6,029,241</b>	<b>6,517,848</b>
<b>■ 資本の部 ■</b>			
資本金	1,302,650	1,527,950	1,302,650
資本剰余金	1,069,550	1,368,560	1,069,550
利益剰余金	1,159,524	1,181,705	1,279,843
その他有価証券評価差額金	45,352	9,657	9,817
<b>資本合計</b>	<b>3,577,076</b>	<b>4,087,872</b>	<b>3,661,860</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>10,308,870</b>	<b>10,117,113</b>	<b>10,179,708</b>

中間単体損益計算書(要旨)

単位：千円

科目	前中間期 平成14年4月1日 ～平成14年9月30日	当中間期 平成15年4月1日 ～平成15年9月30日	前期 平成14年4月1日 ～平成15年3月31日
売上高	5,242,821	5,523,152	11,565,954
売上原価	3,210,072	3,288,759	7,285,388
売上総利益	2,032,749	2,234,393	4,280,566
販売費及び一般管理費	1,878,322	2,130,036	4,062,264
<b>営業利益</b>	<b>154,427</b>	<b>104,357</b>	<b>218,302</b>
営業外収益	25,469	9,217	199,842
営業外費用	49,680	23,764	81,097
<b>経常利益</b>	<b>130,216</b>	<b>89,810</b>	<b>337,047</b>
特別利益	6,702	14,237	14,063
特別損失	81,714	67,906	107,241
<b>税引前中間(当期)純利益</b>	<b>55,204</b>	<b>36,141</b>	<b>243,869</b>
法人税、住民税及び事業税	150,258	4,180	248,253
法人税等調整額	△ 105,606	26,629	△ 135,255
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>10,552</b>	<b>5,332</b>	<b>130,871</b>
前期繰越利益	1,126,621	1,154,022	1,126,621
<b>中間(当期)未処分利益</b>	<b>1,137,173</b>	<b>1,159,354</b>	<b>1,257,492</b>

# Topics

## より高性能に、よりスタイリッシュに、 新型「WACOM FAVO」誕生

一般PCユーザー向けのペンタブレット「WACOM FAVO」の新世代バージョンを9月から発売開始しました。

本製品は世界のクリエイターに愛用されている上位機種intuosに迫る高性能を備えながら、ペンタブレット未経験のPCユーザーの声を取り入れ、使いやすさを追求。手書きの感覚再現率が従来比の2倍にアップするなど、より高機能に、よりスタイリッシュに進化しました。当社は、この新製品を、ペンタブレットマーケット拡大の戦略商品として位置づけ、積極的にマーケティング展開を図ります。



## 液晶一体型タブレットの技術を応用した スポーツ・コーチング用の新ツール「VisiCoach」

従来の画面に直接入力できる液晶一体型タブレットの関連技術を応用して新開発された、スポーツ・コーチング用の画期的なツール「VisiCoach」を11月から発売開始しました。本製品は一般的な入力端子と出力端子が搭載されているため、パソコンを必要とせずにデジタルカメラやビデオデッキがあれば使用可能な簡便性が特徴です。

製品発表会には、各スポーツ分野で国際的に活躍していたトップアスリートがプレゼンターとして集まり、実際に製品を使用してコーチングを実演しました。その中では、コーチがイメージしていることをプレーヤーに「言葉と映像」で正確に適切に伝えることの重要性が語られ、出席した取材陣に当製品の有用性を強く印象づけました。今後は当製品がコーチとプレーヤーのコミュニケーションツールとして幅広く普及し、スポーツ各界への貢献が期待されます。



## 広く社会に役立っている ワコムのペンタブレット製品

ワコムのペンタブレットは、社会の様々な分野に浸透し、役立っています。

NHK教育テレビ「NHK趣味悠々」で、9月2日から9週にわたって放映された「とっともやさしい！中高年のためのパソコン講座 パソコンで絵を描こう」では、すべての解説に当社製品のペンタブレットが使用されていました。

また、当社は、子供たちの無限の想像力とデジタルとの調和を目指した「でじたるピカソ博覧会」の開催に協催。当社のWACOM FAVOを使った子供たちのデジタル作品は、水彩画あり、スタンプ版画あり、線画ありで、「これがパソコンを使って描いたもの？」と大きな反響を呼びました。



## ECADシリーズの最新版 「ECAD/dio (ディオ)」Ver4.0新発売

電気設計用CADで業界No.1シェアを誇るECADシリーズの最新版「ECAD/dio (ディオ)」Ver4.0を9月から発売開始しました。

本製品は、ECADユーザーの要望に応え、製造・購買・メンテナンスまでのプロセス効率の向上のために、豊富で使いやすい作図機能で作成されたデータのインターオペラビリティ(相互運用性)を強化。多彩な製造工程支援機能と全自動電線加工機を組み合わせることで、設計製造効率の40%アップ(従来比の当社試算)を可能にしました。





# Corporate Data

**設立年月日** 1983年7月12日  
**資本金** 15億2,795万円  
**社員数** 単独283名 連結429名

**事業内容**  
**1. 電子機器事業**  
 <コンピュータ入力機器の開発・製造・販売>  
 ○プロフェッショナルグラフィックス・タブレット  
 ○コンシューマグラフィックス・タブレット  
 ○液晶一体型タブレット  
 ○ペン・センサーコンポーネント  
**2. ECS事業**  
 <CAD/PDMシステムの開発・製造・販売>  
 ○電気設計用CAD ○PDM  
**3. EHI事業**  
 <ペンソリューションの開発・製造・販売>  
 ○電子印鑑

**取引銀行** みずほ銀行、UFJ銀行、東京三菱銀行、りそな銀行、住友信託銀行、日本政策投資銀行、他

**役員**  
 代表取締役社長 小川 義水  
 取締役 山田 正彦  
 取締役 沖 壮規  
 取締役 藤島 安之  
 常勤監査役 村上 哲也  
 監査役 蛭谷 毅  
 監査役 嘉村 孝

**執行役員**  
 代表執行役員 小川 義水  
 専務執行役員 山田 正彦 (電子機器カンパニー担当)  
 執行役員 山本 定雄 (技術開発担当)  
 執行役員 若林 裕司 (ECSカンパニー担当)  
 執行役員 川下 恭二 (EHIカンパニー担当)  
 執行役員 沖 壮規 (管理本部長)

**本社/工場** 〒349-1148  
 埼玉県北埼玉郡大利根町豊野台二丁目510番地1  
 TEL:0480-78-1211(代表) FAX:0480-78-1220

**支社・営業所** **東京支社**  
 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー18F

**札幌営業所**  
 〒060-0032 北海道札幌市中央区北2条東1-2-10 日宝北2条ビル4F

**名古屋営業所**  
 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-6-17 オリジン錦ビル8F

**大阪営業所**  
 〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎3-4-14 ショーレイビル807

**福岡営業所**  
 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-6-23 住友博多駅前第2ビル5F

**国内関連会社** (株)ワコムネット  
 〒386-0025 長野県上田市天神3-3-3  
 (平成15年10月14日の当社取締役会において、平成16年1月1日を期して簡易合併の手続きにより吸収合併することを決議しました)

**海外関連会社** Wacom Technology Corporation(アメリカ)  
 1311 SE Cardinal Court, Vancouver, WA 98683 U.S.A

WACOM Europe GmbH(ドイツ)  
 Europark Fichtenhain A9 D-47807 Krefeld Germany

WACOM China Corporation(中国)  
 〒100027 中国北京市朝陽門北大街6號北海万泰大廈611

## 株式の分割に関するお知らせ

当社は、平成15年8月8日の当社取締役会で、同年11月20日付で株式分割を実施することを決議し、投資単位の引き下げと流通株式の増加を図ることを目的に、普通株式1株を5株に分割いたしました。  
 これにより、より多くの投資家の皆様にお取り引きいただける環境が整いました。  
 今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# Shareholder Information

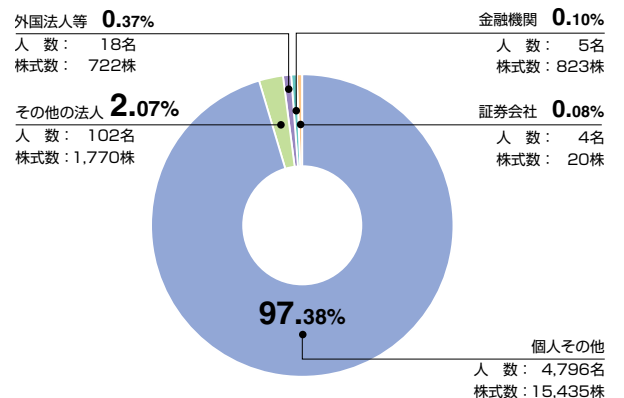
## 株式の状況

会社が発行する株式の総数 ..... 69,000株  
 発行済株式の総数 ..... 18,770株  
 株主数 ..... 4,925名

## 大株主の状況

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
恵藤 洋治	2,674	14.25
ワコム従業員持株会	774	4.12
日本トラスティ・サービス銀行株式会社	698	3.72
株式会社新匠栄	605	3.22
小川 義水	400	2.13
ユニテック・ホールディングス・インターナショナルカンパニー リミテッド	400	2.13
山田 正彦	371	1.98
金岡 秀司	370	1.97
株式会社オージック	300	1.60
嶋田 賢	170	0.91

## 所有者別分布状況



## 株主の皆様へアンケートのお願い

当社では、株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただきたく存じます。  
 お手数ではございますが、質問にお答えいただき、ご投函ください。  
 ご協力をお願いいたします。

- どこで当社をお知りになりましたか。  
 a.証券会社 b.新聞・雑誌広告 c.ホームページ d.知人の紹介  
 e.その他 ( )
- 当社の株式を買付された理由は何でしょうか。(複数可)  
 a.技術力 b.将来性 c.収益性 d.経営理念 e.事業内容 f.財務内容  
 g.株価の割安感 h.証券会社に勧められて  
 i.その他 ( )
- 今後の当社株式についてどのような方針をお持ちですか。  
 a.売却 b.長期保有 c.買い増し  
 また、上記方針を決定するための判断材料は何ですか。(複数可)  
 a.株価 b.株主優待 c.配当 d.将来計画 e.業績  
 f.その他 ( )
- 情報提供手段として、どのようなものを希望しますか。(複数可)  
 a.投資家説明会 b.インターネット・ホームページ c.IR広告  
 d.その他 ( )
- 今回の事業報告書についてのご感想及び今後取り上げてほしいテーマをお聞かせください。

その他、当社に対するご意見・ご希望があればお願いいたします。